

平成 26 年 4 月 吉日

福岡県主催「福岡-ベトナムビジネス交流会」にて講演

3 月末、福岡県が主催する「福岡-ベトナムビジネス交流会」におきまして、県からの要請を受け弊社副社長の 宮井 成行（みやい・せいき）がベトナムから訪問した企業団の方々に講演をさせていただきました。

ベトナムからは、飲食業、アパレル、製造業などの分野から計 11 名が訪日し、3 泊 4 日の日程で県内の企業視察や商談会に参加をされました。

当日の様子をレポートします。



「 シンチャオ! 良いパートナーとして共に成長していきましょう。 」

「シンチャオ! (こんにちは)」というベトナム語の挨拶で始まった講演会。

ベトナムへ通い始めて 9 年になる副社長は、大のベトナム好きでベトナム通でもあります。

“好き”の気持ちも伝わってか、参加者の方々も興味津々に耳を傾けてくださいました。

講演では、トヨタ自動車での経験をもとに TPS の話も交え、人づくりの大切さについて話したほか、日本とベトナムの良好な関係についても言及しました。

～ 講演内容（抜粋） ～

【私が経験したトヨタ生産方式】

トヨタ生産方式の目的は、“人づくり”つまり人材育成であり、人づくりがものづくりの基

礎となる。そのため、現場で実際に見て経験して考えることが重要となる。(=現地現物)カンバン方式の中に、3ムダラリといってムダ(在庫)、ムラ(安定性)、ムリ(工程)というものがあるが、この視点をもって分析し、カイゼンをしていくということが重要である。この他にもTPSには多くの方法があるが、この方式を徹底的に身に着けることで、製造業以外の分野でも効率化やコストダウン、品質や安全の面での効果が期待できる。とにかく、何よりも大切なのは“ひと”である。

【人々の生活の変化、ビジネスの変化】

世界中がここ数年、十数年で大きく変化をしている。アジアの各国でも生活スタイルが変化し、高級品の需要が拡大、輸入に頼ってきた高級品も自国で生産を始めるなど益々成長の一途をたどるであろう。成長を続ける中でも重要となってくるのが“ひと”であり、よい人材を育成することが成功のカギとなる。

【日本とベトナムの友好的な関係】

九州は日本の中でも、みなさんのベトナムと一番相性が合うところだ。義理人情を大切にするような部分では多くの共通点を感じるし、日本に対して好意を持ってきているのが伝わってくる。

今後、変化する時代の中にあっても、変わらず良い関係でいられたらとても嬉しいことだ。今後とも良きパートナーとしてともに成長していきましょう。

以上

宮井 成行 (みやい せいき) プロフィール

株式会社テクノスマイル 取締役副社長

トヨタ自動車に入社の当初は工場勤務でトヨタ生産方式を体験。その後は購買部配属となり調達の実務を長年実施した。

それからトヨタ自動車九州の調達の立ち上げに尽力。

株式会社テクノスマイル入社後は、ベトナムを初めとする海外人材の育成と紹介に力を入れている。